

遅いけど丁寧、粗いけど早い、どちらが良いのか

今回のタイトルですが、これは金型メーカーや部品加工メーカーの現場ではよく議論されるテーマです。

まずはじめに、前提となることがあります。

仕事が「遅い」と言いましても、どうしても考えることが苦手だったり、人よりも器用に手を動かすことが苦手など、資質的なこともありますので、ここでは「どうしても**丁寧**にやってしまうため、仕事が人よりも**遅く**になってしまう」人を対象とします。

また、丁寧か粗くかに関係なく、普通に仕事が「**早い**」という人もおられますので、ここでは「仕事を急ぐあまり手を省くこともあり、結果仕事が**粗く**になってしまう」人を対象とします。

つまり先天的なものではなく「仕事のやり方・スタンス」により、いずれかになっている人、そしてそのいずれかのスタンスに問

そういう意味で、金型メーカーや部品加工メーカーで仕事をするうえで「何をやりたいか」を明確にすることは、結果的に中長期の目標を設定することに繋がり、自分自身を成長させるために良い効果があるということです。

これは、金型メーカーや部品加工メーカーで働く中で取り組む、キャリアプランの一つだと言えるのではないのでしょうか。

まとめ（勝ち組社員になるために）

さて今回のテーマをまとめますと、

- ① キャリアアップの考え方には、短期のタイプと長期のタイプの2種類がある。
- ② 自分はどちらのタイプかを認識する。それを踏まえたうえで日々の行動に意味付けをする。
- ③ 金型メーカーや部品加工メーカーのキャリアアップでは「何をやりたいか」を明確にした方が望ましい。
- ④ 「何をやりたいか」を明確にすると、結局は中期か長期の目標を立てることにつながる。

ということになります。

今回の内容を読んだ後に取り組める実践ワークは次のものになります。

- ✓ ご自分の市場価値はどのくらいだと思いますか？

表現方法は何でも構いませんので、考えてみてください。例えば「上の中」くらいとか、「中の上」といった言語表現でも構いませんし、「同業者が 100 人いたら上から 40 番目くらいかな」など、数値表現の方がわかりやすいかと思います。

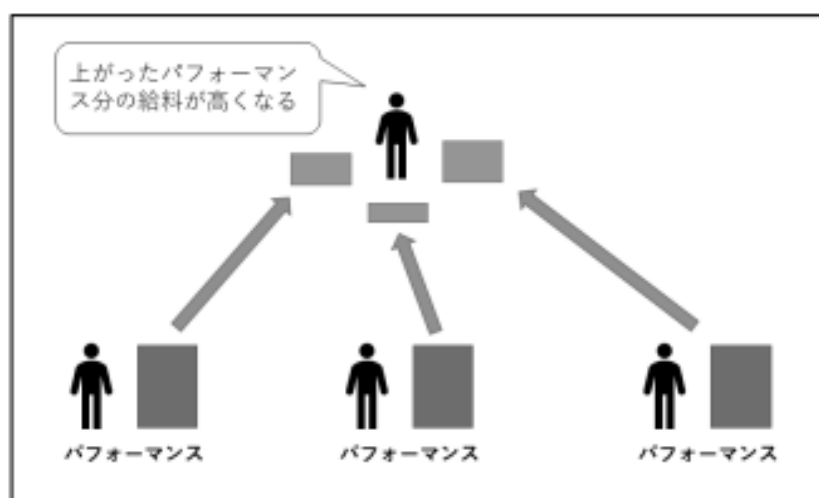
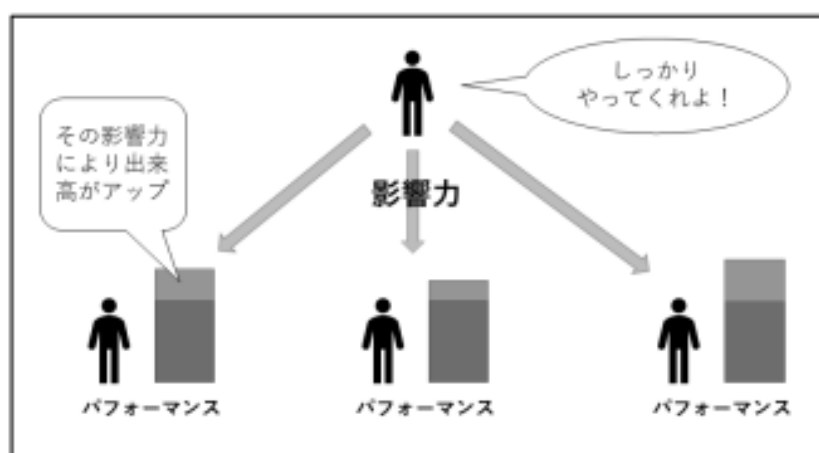
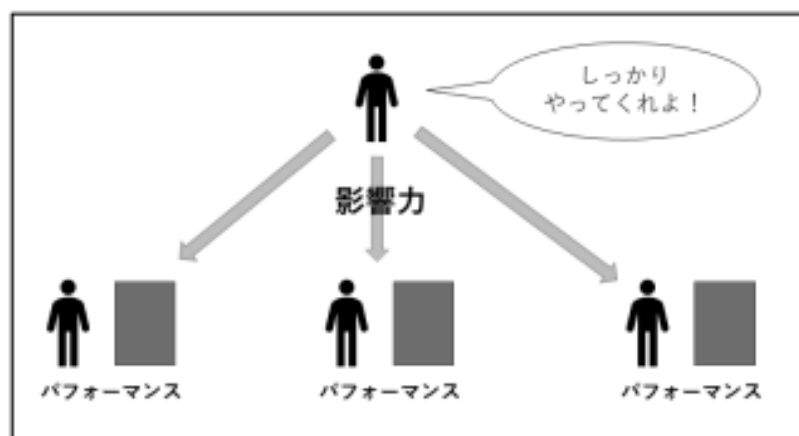
また担当工程ごとでも構いません。「ワイヤーカットなら 100 人中、上から 20 番目くらい」などです。「同年代でならトップの方かな」など条件を絞った表現もあるかと思います。

- ✓ ご自身の市場価値を書いたうえで、まだ自分が「知らない」「できない」と思えるジャンルや項目などがありますでしょうか？

例えば、マシニング加工で言えば、「まだ使ったことがない工具がある」とか、「段取りオペレーターはやったことがあるが CAM データまで作ったことがない」などです。

その他、「焼入れのメカニズムまでは知らない」とか、「窒化やコーティングの種類までわからない」とか、「組み立てまではやったことがない」など、金型の部品や構造にかかわる知識でも構いません。

下の段階図は、いずれ上司となったときに、課長や部長などの取り分、つまりお給料が高い理由を図解したものです。



したがってメリット面としては、タイムパフォーマンスや、作業にかかる工数をコストと見るならば、そのコストパフォーマンスを意識することで、会社としては安く早くモノを作ることができ、働く社員さんとしては、よりプライベートに回せる時間を捻出していくことができるということになります。

一方、今回のメインテーマであるデメリット面、弊害は何かを見ていきますと、ここで取り上げたいことは、次の2つです。

- ① 失敗経験が減ってしまう
- ② 持ちつ持たれつが形成されない

失敗経験が減ってしまう

まず一つ目の弊害は、「失敗経験が減ってしまう」ことです。

「経験を積む」ということは、「**失敗の数を重ねること**」だと言っても過言ではありません。